

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 22	
企画名	診療ガイドラインを批判的吟味する
日時	2016年6月12日(日) 09:30～11:30
会場	第12会場 (台東区民会館 9階 ホール(1))
企画責任者	南郷栄秀 (東京北医療センター)
定員	72名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b></p> <p>診療ガイドラインの評価方法を知り、質の高い診療ガイドラインとはどのようなものかを理解する。診療ガイドラインを鵜呑みにせず批判的な目で見ることができる人材を育成する。</p> <p><b>【概要】</b></p> <p>診療ガイドラインは診療上の行動指針を示したものであり、今や診療に欠かせない情報源です。しかし、私たちの診療の対象となる患者は一人ひとりの事情が異なるため、専門医が作成した診療ガイドラインを鵜呑みにすることは危険です。</p> <p>本セッションでは、診療ガイドラインも批判的吟味の対象にすべきであることをまず理解し、推奨内容の脆弱さと正しい読み方を学ぶことによって、個々の患者の診療にガイドラインをどのように活かせばよいかを考えます。</p> <p>具体的には、診療ガイドラインの国際標準作成作成である <b>GRADE system</b> を理解した上で、<b>AGREE II</b> と呼ばれる評価ツールでガイドラインの記述が適切かどうかの評価を行い、診療ガイドラインをどのように活用すればよいか、グループディスカッションを行います。各グループには経験豊富で親切なチューターが付き、ディスカッションをサポートします。</p>	